



山中湖フェスティバルサッカー大会 ＜山中湖交流プラザきらら＞

＜予選リーグ：9/24＞

○南八王子 12 - 0 21 Century Girls (前半 4 - 0)

○テーマ

ボールを奪われないキープ (低学年、初心者)、
視野の確保からプレー判断のスピードアップ (高学年)

○得点者 片寄優さん (6)、漆間花さん (2)、滝本さん、
気仙さん、井上さん、飯島さん

初めて対戦する相手に、慎重に高学年中心で先発したものの、雑な攻撃と遅いプレー (判断) のため、攻め続けるもなかなか得点できませんでした。待望の初得点はコーナーキックから。

漆間さんのライナー気味のボールをボレーで合わせたのは井上さん。見事な得点でした。4年生をどんどん送り込んだ後半はむしろシンプルな攻撃ができて、次々得点を重ねます。あまり難しいことを考えずに、素直にゴールを目指したことが良かったのだと思います。

○南八王子 10 - 0 山中湖 (前半 4 - 0)

○テーマ ボールを奪われないキープ (低学年、初心者)、視野の確保からプレー判断のスピードアップ (高学年)

○得点者 漆間花さん (4)、片さん寄優 (3)、気仙さん、滝本さん、小林さん

この試合は南八らしい持ち味を發揮した試合となりました。ドリブルあり、ゴール前でのスルーパスやワンツーからのシュートなど多様な攻撃ができました。左サイドを深くえぐった片寄優さんのドリブルから折り返したボールを詰めた小林さんの得点は、いわゆるごつつあんゴールでしたが、あそこにいることが大切です。2試合とも2桁得点と上々な出だしとなりました。

○南八王子 対 ジェイド 0 - 7 (前半 0 - 3)

○テーマ ボールを奪われないキープ (低学年、初心者)、視野の確保からプレー判断のスピードアップ (高学年)

今考えてもあれだけコテンパンにやられた原因がよく判らない試合でした。考えられるのは、お互いが2試合を終えていて、得失点差で南八が優位にいたこと。つまり引き分けても1位抜けが可能だったことで、油断があったのかもしれませんが。パスを回すチームであることは、判っていたので、パスの行き先ではなく、出し先を抑える作戦を取りましたが、プレスが全くかかりません。自由にボールを保持され、パスを通され、全てが後手に回りました。攻撃の中心である片寄優さんも完璧に封じ込められて万事休す。良いところを全く見せることなく終えた試合となりました。

＜2位パートリーグ：9/25＞

○南八王子 5 - 0 エスペランサ (前半 3 - 0)

○テーマ ボールを奪われないキープ (低学年、初心者)、視野の確保からプレー判断のスピードアップ (高学年)

○得点者 片寄優さん (4)、井上さん

気仙さんや小沢さんが足の痛みを訴えてきたため、漆間花さんをCBにするなど、



ハーフタイム

かなり変則的なフォーメーションで試合に臨みました。4年生の矢久保さんや辻内さんの果敢なドリブルでのチャレンジや飯島さんの惜しいシュート、曾根さんのボール保持した相手への積極的なアタックなど積極性がよかったです。印象的なゴールは井上さん。右サイドのDFですが、キレのあるドリブルで3人の選手をかわし、右45度から打ったシュートは豪快にゴールネットを揺らしました。

○南八王子 6 - 0 武田消毒 (前半 2 - 0)

○テーマ ボールを奪われないキープ (低学年、初心者)、視野の確保からプレー判断のスピードアップ (高学年)

○得点者 片寄さん (4)、気仙さん、安井さん

この試合もベストメンバーではなく4年生中心に試合に入りました。関東ガールズエイトに出場したチームにもほとんどサッカーをさせずに攻め続けることができず、キーパーに入った飯島さんもペナルティエリアをいっぱいを使って危なげなく守ってくれました。また、代わりにDFとして出場した安井さんは、決定的になりそうなピンチを良いカバーリングで守ってくれただけでなく、こぼれ玉を豪快にロングシュートを決めて、大活躍でした。

○南八王子 8 - 0 富士川ファーストレディース 8 - 0 (前半 4 - 0)

○テーマ ボールを奪われないキープ (低学年、初心者)、視野の確保からプレー判断のスピードアップ (高学年)

○得点者 片寄優さん (5)、滝本さん (2)、漆間花さん

去年は決勝戦を戦った相手です。準優勝で悔しい思いをした分、今年は完璧な試合運びで完勝しました。この試合も14名の選手の誰が出ても力の差を感じないサッカーができましたが、特に4年生辺りは自信にして欲しいと思います。この試合もたくさんのゴールが生まれましたが、印象的だったのは、滝本さん。右サイドでボールを受けた小林さんのクロスはゴール前へのロビングボール。それを見事にゴールに押し込んだ滝本さん初のヘディングシュートでした。



コーナーキックからの攻防

さてこの大会のテーマですが、「ボールキープ」は出来る子と出来ない子の差がまだまだ大きいですね。まだまだスクリーンの形が不十分で、簡単にボールを相手にさらしてしまっています。体の入れ方と手の使い方が課題です。「視野の確保」もまだまだ。余裕があってもボールを受けてから、次のプレーを考えてるケースがほとんどでした。

この大会で大きく成長したのは、エースでもある片寄優さん。いつも力任せのシュートで決定力が課題だった彼女にインステップキックのシュートを禁止しました。最初は戸惑っていましたが、感覚をつかんだ後の彼女は本領を發揮し、6試合でなんと22得点。一皮むけた彼女のこれからが楽しみになりました。

そしてこの大会の優秀選手ですが、右サイドバックの井上さんが選ばれました。1対1の強さに加え、チャンスではストッブゴーを使ったキレのあるドリブルで長友のようにサイドを駆け上がり、シュートやクロスボールで多くのチャンスを作ってくれました。

b y 飛田 コーチ